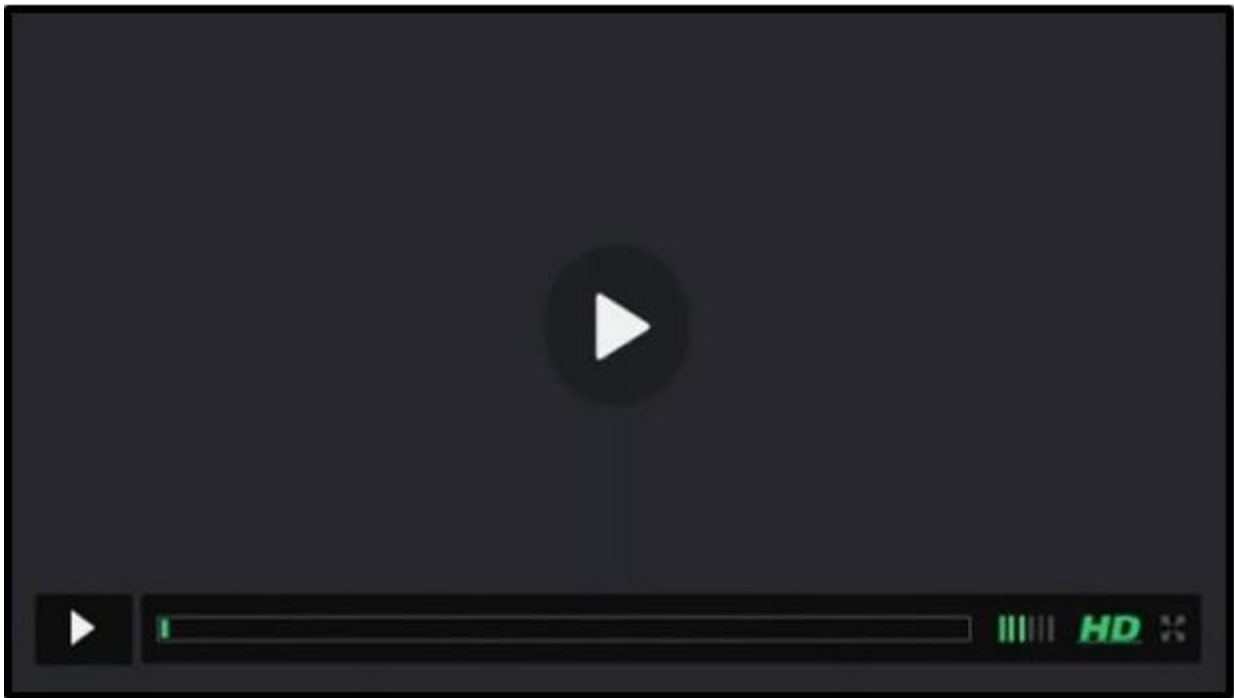


# [放送@JP]!びわ湖マラソン 2026放送・ライブ放送・ライブ配信・生放送 2026年03月08日

びわ湖マラソン2026（2026年3月8日開催） 2025年8月1日14:00からランナー・ボランティア募集を開始!! 2026年03月01日...



なお、今大会から、びわ湖マラソンは、日本3大湖(にほん3だいまみずうみ)マラソンとして、かすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソン、サロマ湖100kmウルトラマラソンとの連携協定の締結を予定（7/31(木)）しています。本協定では、ランナー・応援者等の相互交流、各種おもてなしやイベント等を通じた地域の活性化等の各分野で連携していきます。

2026年3月8日（日曜日）開催の「びわ湖マラソン2026」に、本学の近江楽座「未来看護塾」を中心とした看護学生が医療救護ボランティアとして参加します。

先日2月13日（金曜日）には、ボランティアに参加する看護学生ら約30名が集まり、胸骨圧迫やAEDの使用に関する講習会を受講しました（講師：株式会社Fast Fitness Japan、Anytime Fitness）。

ランナーの皆さまが笑顔でゴールできるよう、お手伝いさせていただくとともに、大会を盛り上げていきたいと思っております！

大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をとおして地域社会へ根付いていく学生プロジェクト「近江楽座」の一つ。

子どもや高齢者、障がいの有無に関わらず、地域の方々を対象に心も体も健康になってもらえるような活動をしています。

初春の琵琶湖岸を市民ランナーが駆け抜ける「びわ湖マラソン2026」が、8日に行われる。2人一組のペアリレーマラソンを含め、全47都道府県か

滋賀銀行は2月4日、びわ湖マラソン大会実行委員会に「びわ湖カーボンクレジット30t-CO2」を寄付した。3月8日に開催される「びわ湖マラソン2026」で排出が見込まれるCO267トンに対し、同行のカーボンクレジットを30トン、参加ランナーらによる「CO2ネットゼロ協力金」37トンでオフセットする。脱炭素やSDGs、生物多様性保全などを支援...

この記事をご覧いただくには会員登録が必要です。

無料会員に登録いただけますと1ヵ月間無料で有料会員向け記事がご覧いただけます。

ぜひ、お試してください。